

佐野市景況レポート

平成27年7～9月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成27年7～9月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、198社(回答率68.2%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

業況は悪いながらも底堅い

市内各事業所の円安影響調査結果をみると、円安による好影響事業所が減少した結果、全体の円安マイナス影響度が増大した。また、景況コメントをみても、①円安による原料価格の上昇、②大雨の影響による野菜高騰、③中国不況等による景気減速予想、などの景況悪化が感じられる。

最近、企業診断において、現状の延長的な改善策では効果が期待できない事例がみられる。おそらく、今までのやり方の改善が限界に近づいたことから、考え方を変えた(経営革新的)経営が必要になったことであろう。長野県にある、㈱サイベックコーポレーションは、超精密部品の金型開発とプレス加工をしている社員72名の中小企業。この会社は、1973年に開業し、プレス加工の賃加工から金型製作へ、新工法を確立し、今では、型売しない金型メーカーへと変革を遂げた。新工法の確立により、部品1個の製造コストは、120円から6円へと二十分の一に削減し、高付加価値化を達成した。圧巻は、総工費28億円の地下工場。現状の改善だけでなく、経営環境に応じ大胆に考え方を変える(経営革新)経営が必要と感じる。

佐野市景況レポート(平成27年7～9月期)をみると、全業種業況DI指数は▲19.8、前期(6月期)比▲2.1ポイントの業況悪化となった。利益DI指数は▲27.2、前期比▲1.4の悪化となった。売上高DI指数は▲22.8(前期比▲1.6)、販売価格DI指数は▲8.0(前期比▲7.1)、仕入価格DI指数は11.4(前期比▲20.7)、販売価格と仕入価格のDI指数前期比を比較すると、仕入価格の上昇が一服したことと、売上低迷も重なり販売価格の低下になったと推測する。

今後3ヶ月先(平成27年10～12月見通し)の全業種業況DI指数は、▲13.7、前期比+1.0と僅かな改善を見込んでいる。予想売上高DI指数は▲8.8(前期比+7.4)、予想仕入価格DI指数は11.5(前期比▲9.9)、販売価格DI指数は▲7.9(前期比▲3.2)と、前期に比べ、仕入価格が安定し、売上高の増加を見込んでいる。

一方、日銀短観9月調査では、大企業業況判断DI指数は19(前期比0)、中小企業DI指数は3(前期比+1)と、6月調査と同様の業況判断となった。今回の短観では、外需の減速等による製造業の悪化が見られるが、内需の堅調さがみられた結果となった。

円安影響の調査結果(平成27年7～9月期)は、①大幅なプラス影響：0%(前期比▲12%)、②若干のプラス影響：6%(前期比▲2%)、③影響ない：58%(前期比+24%)、④若干のマイナス影響：29%(前期比▲5%)、⑤大幅なマイナス影響：7%(前期比▲5%)と、前回調査に比べ、円安のプラス影響が大きく減少した。評価ポイントをみると、▲37(前回▲26)と、円安のマイナス影響度が大きくなった。

☆ 業況について（平成 27 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲19.8、前期比 2.1 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 10.3 ポイント、②食品製造業▲4.8 ポイント、③卸売業▲15.0 ポイント、④建設業▲22.0 ポイント、⑤小売業（飲・食料品）▲28.6 ポイント

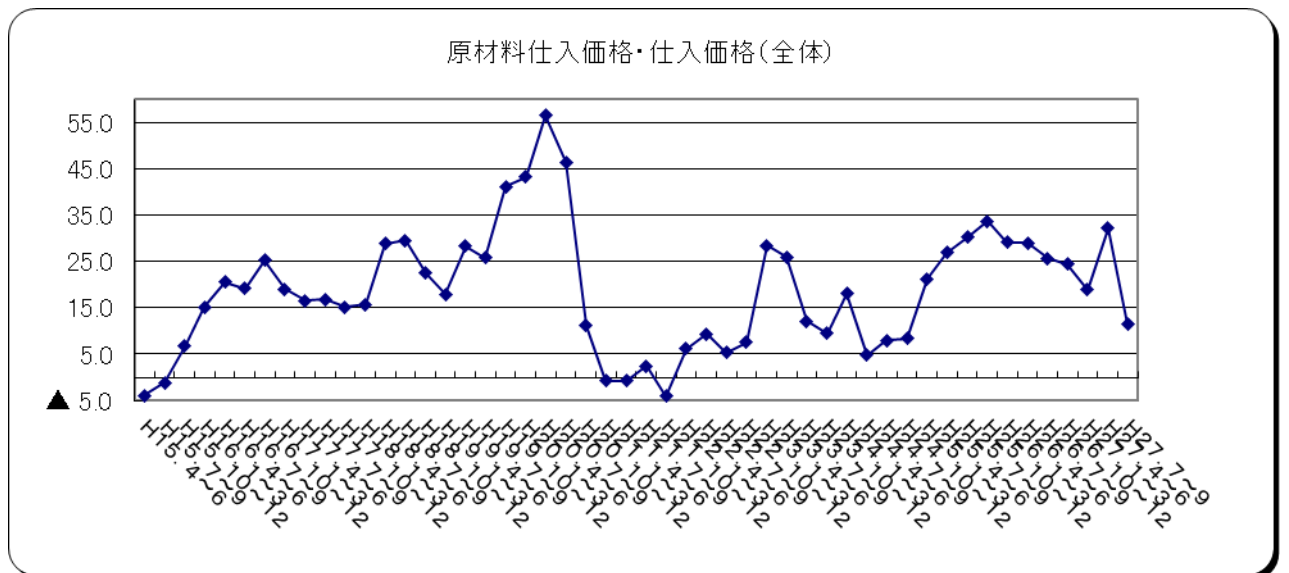


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 27 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数 11.4、前期比 20.7 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 37.5 ポイント、②繊維品製造業 33.3 ポイント、③サービス業 23.1 ポイント、④小売業（飲・食料品）20.9 ポイント、⑤飲食店 8.6 ポイント

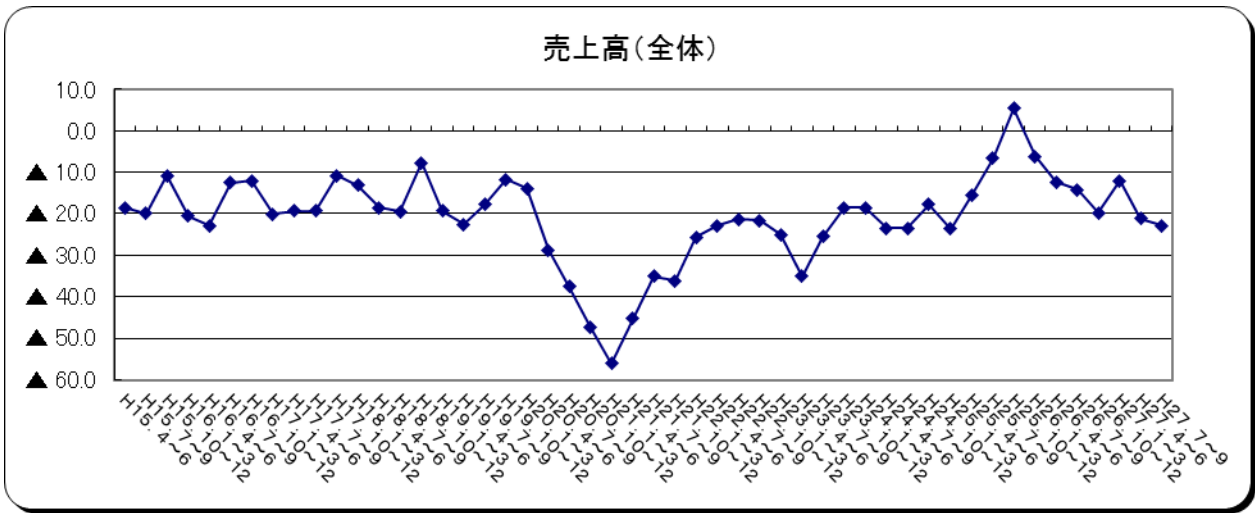


☆ 売上高について（平成 27 年 7～9 月期実績）

全業種 DI 指数▲22.8、前期比 1.6 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①食品製造業 0.0 ポイント、②卸売業▲7.7 ポイント、③飲食店▲9.7 ポイント、④繊維品製造業▲17.6 ポイント、⑤機械・金属製造業▲18.5 ポイント

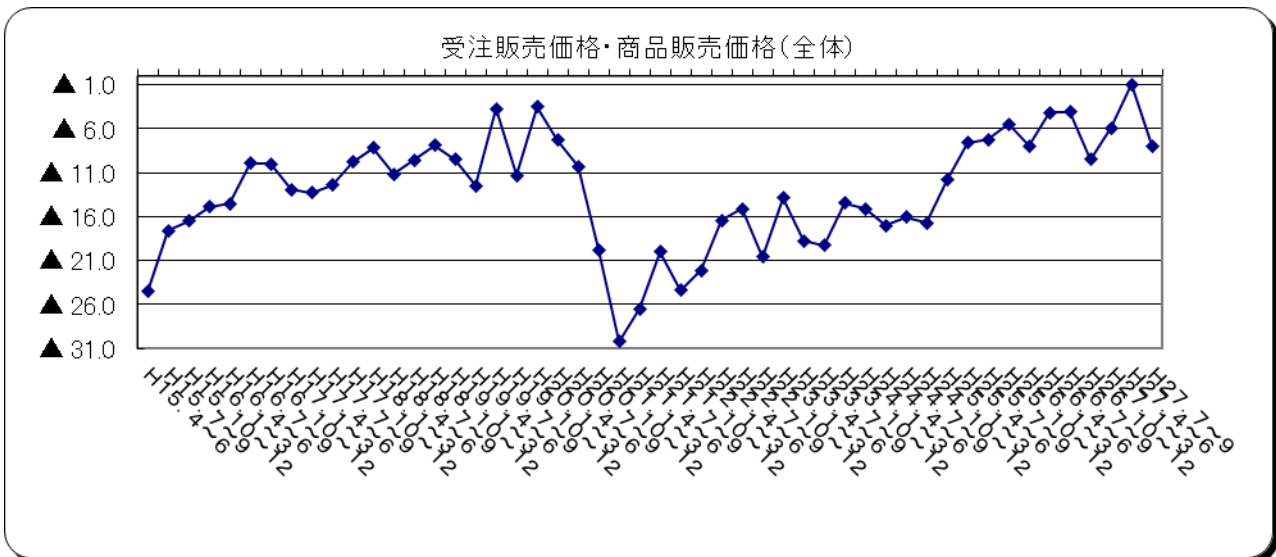


☆ 受注販売価格・商品販売価格について (平成 27 年 7~9 月期実績)

全業種 DI 指数 ▲8.0、前期 7.1 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①小売業 (飲・食料品) 6.7 ポイント、③食品製造業及び化学・プラスチック製造業、その他の製造業、卸売業 0.0 ポイント



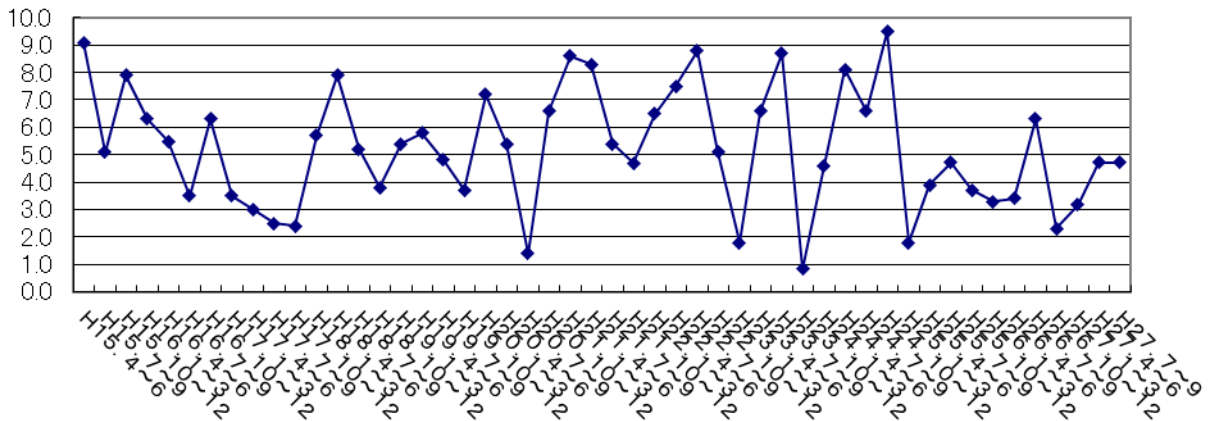
☆ 製品 (材料) 在庫・商品在庫について (平成 27 年 7~9 月期実績)

全業種 DI 指数 4.7、前期と同数

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 10.3 ポイント、②機械・金属製造業 9.9 ポイント、③食品製造業 8.6 ポイント、④化学・プラスチック製造業 7.9 ポイント、⑤繊維品製造業 7.7 ポイント

製品(材料)・商品在庫(全体)



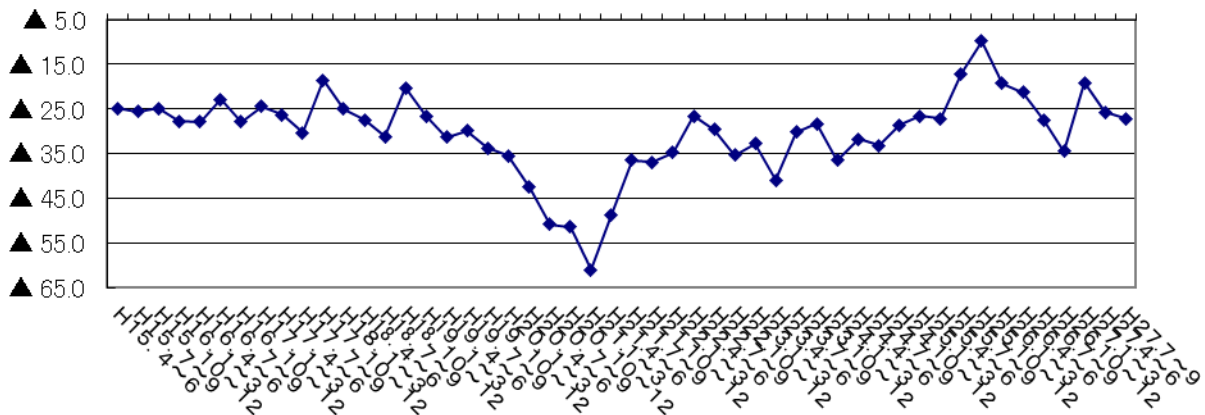
☆ 利益状況について (平成 27 年 7~9 月期実績)

全業種 DI 指数 ▲27.2、前期比 1.4 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 0.0 ポイント、②飲食店 ▲9.1 ポイント、③その他の製造業 ▲10.3 ポイント、
- ④食品製造業 ▲14.3 ポイント、⑤機械・金属製造業 ▲22.0 ポイント

利益状況(全体)



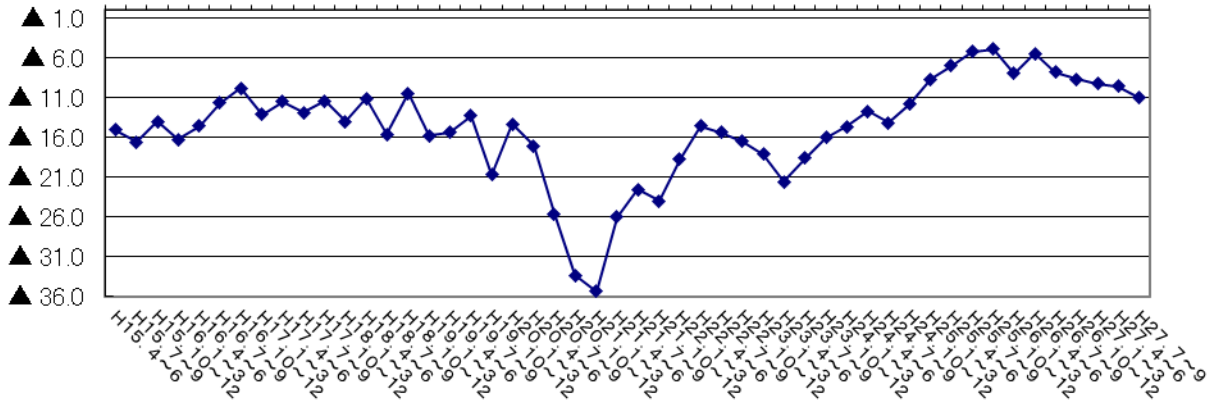
☆ 資金繰りについて (平成 27 年 7~9 月期実績)

全業種 DI 指数 ▲11.0、前期比 1.4 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 7.3 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業 ▲3.3
- ポイント、④繊維品製造業 ▲8.1 ポイント、⑤食品製造業 ▲13.4 ポイント

資金繰り(全体)



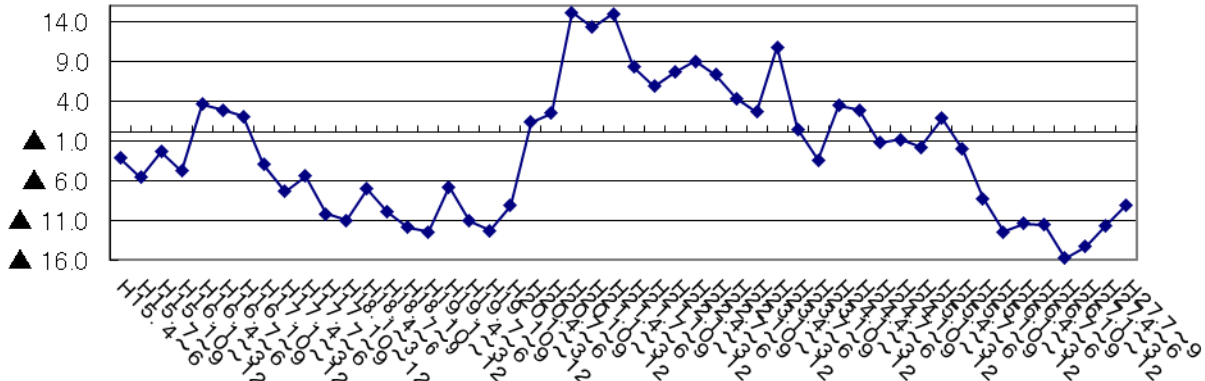
☆ 労働力について (平成 27 年 7~9 月期実績)

全業種 DI 指数▲9.1、前期比 2.6 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①飲食店 9.1 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 6.7 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲0.0 ポイント、④機械・金属製造業▲6.8 ポイント、⑤卸売業▲7.7 ポイント

労働力(全体)



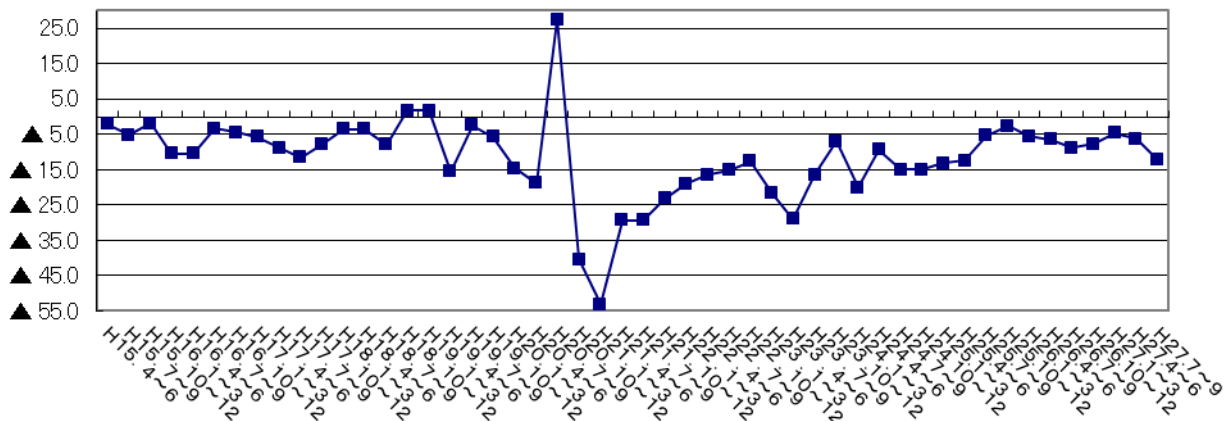
☆ 設備稼働率について (平成 27 年 7~9 月期実績) (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数▲12.2、前期比 5.9 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 9.7 ポイント、②食品製造業▲4.6 ポイント、③機械・金属製造業▲7.1 ポイント、④建設業▲20.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲20.5 ポイント

設備稼働率(建設・設備・製造業)



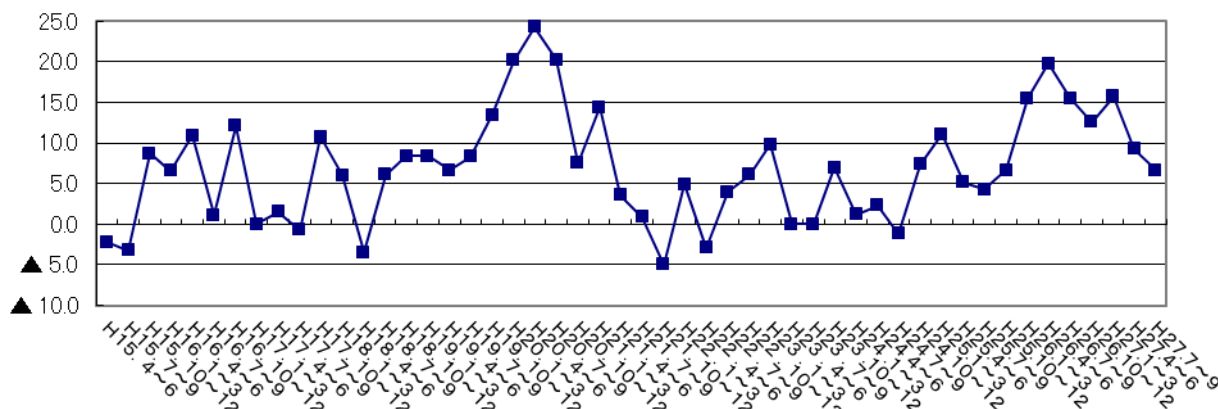
☆ 販売経費について (平成 27 年 7~9 月期実績) (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 6.7、前期比 2.6 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 38.5 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 20.9 ポイント、③飲食店 8.6 ポイント、④サービス業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業 (大型店を含む) ▲21.4 ポイント

販売経費(商業・サービス業)



☆ 今後3ヶ月先（平成27年10～12月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲13.7、前期比1.0ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

①小売業（飲・食料品）22.0ポイント、②その他の製造業10.3ポイント、③飲食店0.0ポイント、④その他の小売業（大型店含む）▲5.7ポイント、⑤食品製造業▲9.4ポイント

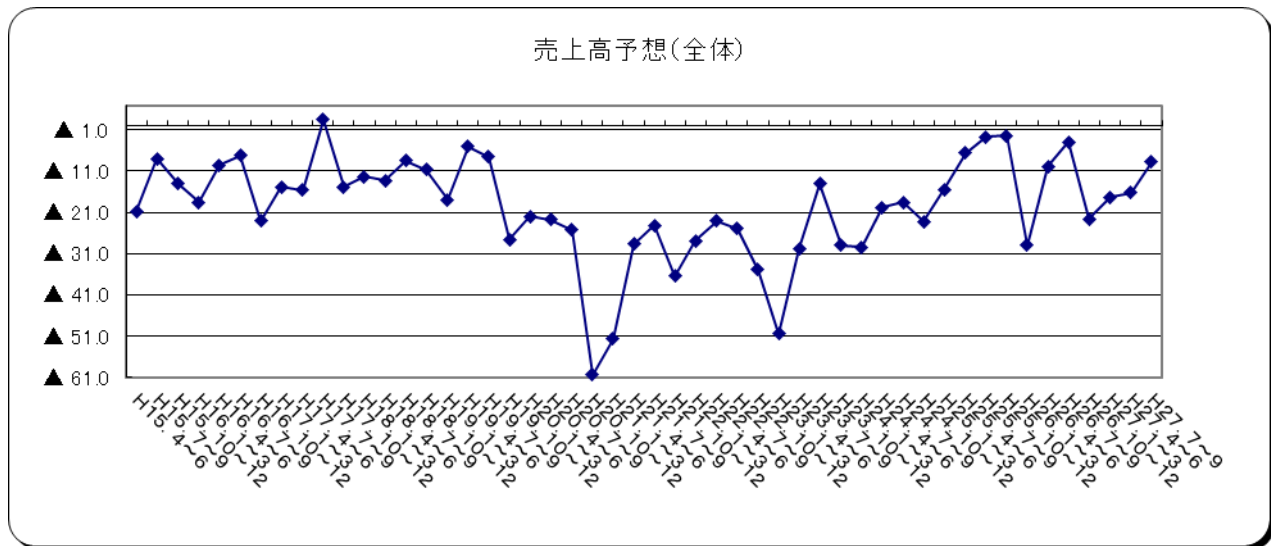


☆ 今後3ヶ月先（平成27年10～12月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲8.8、前期比7.4ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

①小売業（飲・食料品）22.0ポイント、②その他の製造業21.4ポイント、③食品製造業9.7ポイント、④卸売業並びに飲食店0.0ポイント



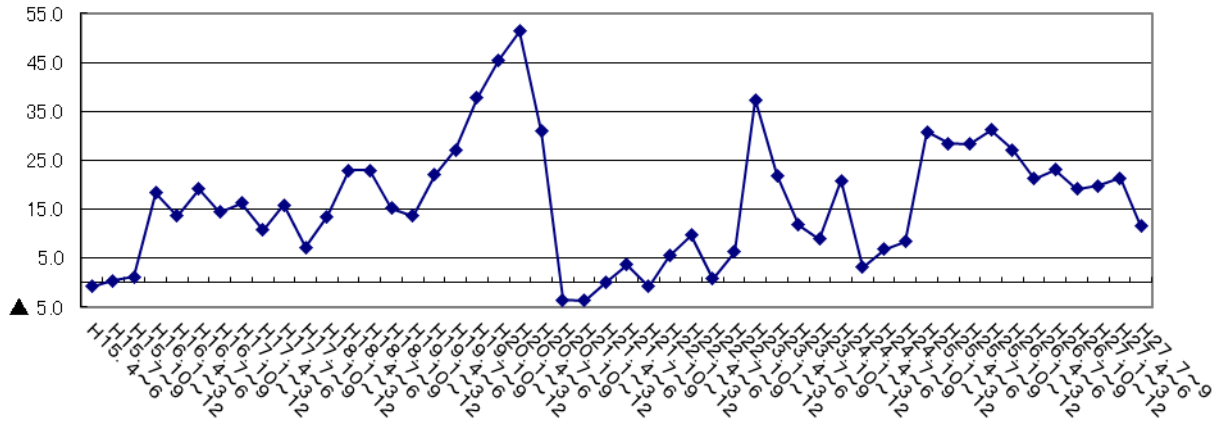
☆ 今後3ヶ月先（平成27年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数11.5、前期比9.9ポイント減少

業種別DI指数（上位5業種）

①建設業28.6ポイント、②小売業（飲・食料品）27.3ポイント、③繊維品製造業25.7ポイント、④設備業21.4ポイント、⑤食品製造業18.2ポイント

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



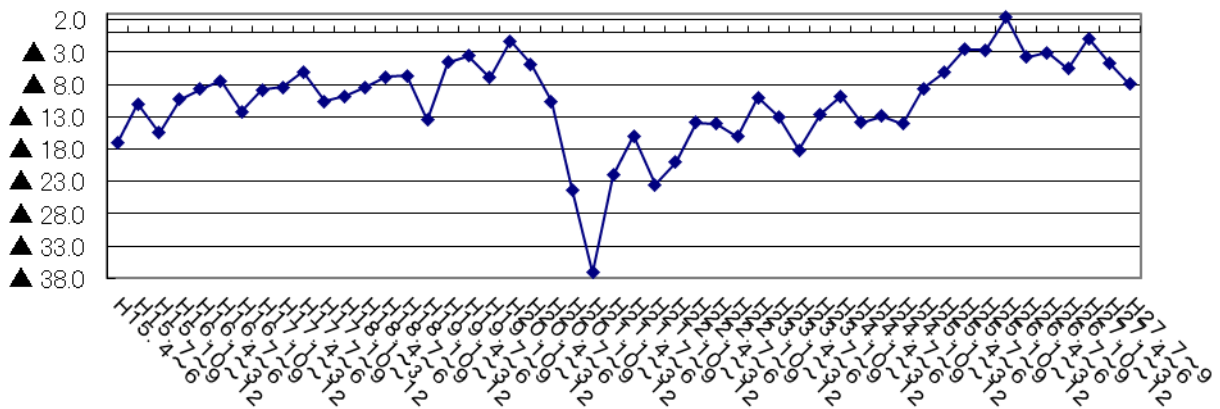
☆ 今後3ヶ月先(平成27年10~12月期の見通し)の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲7.9、前期比3.2ポイント減少

業種別DI指数(上位5業種)

- ①その他の製造業9.7ポイント、②卸売業及び小売業(飲・食料品)、その他の小売業(大型店含む)0.0ポイント、⑤機械・金属製造業▲3.2ポイント

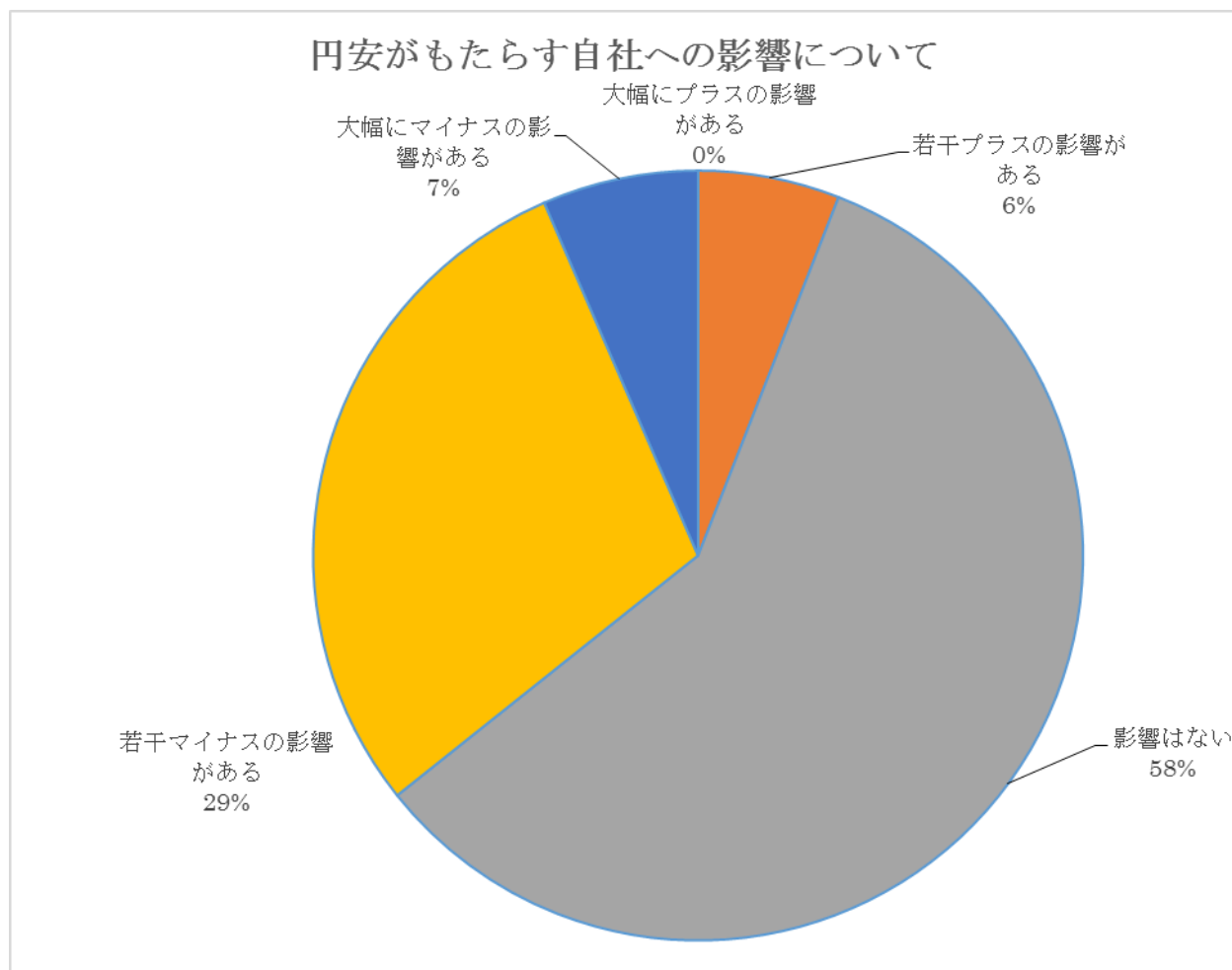
受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 昨今の為替（円安）がもたらす自社への影響（売上・収益・経費等）について

為替（円安）がもたらす 自社への影響について	平成 26 年 10-12 月期		平成 27 年 1-3 月期	
	構成比（%）	評価ポイント	構成比（%）	評価ポイント
①大幅にプラスの影響がある（+2P）	12%	24	0%	0
②若干プラスの影響がある（+1P）	7%	7	6%	6
③影響はない（0）	32%	0	49%	0
④若干マイナスの影響がある（▲1P）	38%	▲38	34%	▲34
⑤大幅にマイナスの影響がある（▲2P）	11%	▲22	11%	▲22
合 計	100%	▲29	100%	▲50

平成 27 年 4-6 月期		平成 27 年 7-9 月期	
構成比（%）	評価ポイント	構成比（%）	評価ポイント
12%	24	0%	0
8%	8	6%	6
34%	0	58%	0
34%	▲34	29%	▲29
12%	▲24	7%	▲14
100%	▲26	100%	▲37



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・コメントなし。

設備工事業

- ・コメントなし。

繊維品製造業

- ・このところ続いたマイナス要因のせいなのか、7-9月は、売上は伸びませんでした。これから年末に向けて少しでもプラス要因が欲しいですね。多かれ少なかれ小さい製造業は影響を受けてる気がします。
- ・円安が進むと原材料価格が上昇するため、これ以上円安になると、値上げも検討しなくてはならない状況です。

食品製造業

- ・世界の景気減速により、日本も悪影響がでてくると思いますので、しっかりした経営に努めていきたいと思います。
- ・原材料の価格がどんどん上昇しており、販売価格に転嫁できず、難しい日々です。なかなか良い報告が出来ません。
- ・8月後半、急に涼しくなり、夏の商品がストップしてしまった。
- ・円安が気がかりです。
- ・天候に振り回され、回復が全く見えず。原材料である野菜の高騰がいつまで続くのかにより、大幅な利益減となる見込みです。
- ・食品業界は横ばいの状況で推移しており、景気回復の実感はありません。

機械・金属製品製造業

- ・大雨の影響で各地に被害が出て大変です。水害の対策がきちんと出来ていない現状です。被害の大きかった市の市長さんの対応には、危機管理の甘さを感じます。とにかく早急にライフラインの復旧を願います。佐野市の防災対策は大丈夫か不安です。！
- ・当社の顧客からは、直近の見通しとして悪化するようなことは聞かされておりましたが、他業界からは、悪くなっているらしいです。
- ・受注は減少傾向が続くと見込まれる。
- ・8月は年間を通じて最低の売上金額予想です。今後3ヶ月予想は年初計画より下降修正となりますが、当期（7-9月期）と比較しますと、若干プラス傾向となります。

化学・プラスチック製品製造業

- ・下期は中国不況の影響が出そうです。
- ・原油安の影響で、原料のナフサ材が安値傾向にあるが、値下げ時期がズレが3ヶ月あり、10月以降の効果となる見込み。

その他の製造業

- ・材料の輸入に占める割合が高いので為替の影響が大きい。売単価は変わらず、収益減だ。円安の後は円高になると考えている。
- ・東京都心部だけがマンションの価格等が上昇し人気になって忙しいが、地方は仕事量が減って厳しい状況になりつつある。

卸売業

- ・農産物の収穫時期なので、天候不順が心配です。
- ・業績が良いのは、大手だけだと思います。大手の賃上げ=下請けへのコストダウン要求！我々の業界は、リーマンショックより悪い環境となっています。

小売業（飲・食料品）

- ・野菜相場高による販売価格の上昇が心配です。人手が非常に不足している。
- ・夏の時期は、売上が落ちる商品なので我慢の時です。10-12月は若干の売上増になると思いますが、前年同月と比べると売上は減少することが予想されます。
- ・原材料はほぼ上昇して下がらないものばかりです。
- ・台風と長雨による農産物の高値のため大変です。
- ・前期・前々期に比べて悪い。
- ・夏の雨の降らない日が続き、真夏日が新記録。その後は長雨と台風の襲来とで野菜・農産物が高騰と天候により大変な月でした。

その他の小売業（大型店含む）

- ・特需により売上・利益が見込まれる。（新庁舎建設のため）
- ・相変わらず、悪い状況。しかし、10月は商品の切り替えなので良くなるものと思われる。
- ・いつまで続くのか、全て低迷しております。
- ・専門店への来店人口減少により売上が減少した。

飲食店

- ・売上高がなかなか伸びません。
- ・景気が良くなるか、悪くなるか判断がつかない状況です。
- ・店舗を移転した初月は、売上が過去最高だったが、翌月は平年並みとなりました。初月の好調を持続していくために、早急に対策を検討しなければ・・・。

サービス業

- ・4月頃までは、悪い悪いと口では言っても、実際は売上も利益も前年対比3%ほどの減少だったが、5月以降は10%前後の減少が続いている。一番減ったのは、客数よりも客単価が減っている。
- ・売物件ばかりで在荷が多すぎます。
- ・今年の春頃から景気が悪くなった様に感じる。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成27年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

